

正岡子規著「病床六尺」ワイド版岩波文庫、岩波書店 1993年4月7日刊を読む

一 病床六尺

1. 病床六尺、これが我世界である。しかもこの六尺の病床が余には広過ぎるのである。僅かに手を延ばして畳に触れる事はあるが、蒲団の外へまで足を延ばして体をくつろぐ事も出来ない。甚だしい時は極端の苦痛に苦しめられて五分も一寸も体の動けない事がある。苦痛、煩悶、号泣、麻痺剤、僅かに一条の活路を死路の内に求めて少しの安楽を貪る果敢なさ、それでも生きて居ればいひたい事はいひたいもので、毎日見るものは新聞雑誌に限つて居れど、それさへ読めないで苦しんで居る時も多いが、読めば腹の立つ事、癩にさはる事、たまには何となく嬉しくてために病苦を忘るるやうな事がないでもない。年が年中、しかも六年の間世間も知らずに寐て居た病人の感じは先づこんなものですと前置きして

2. 土佐の西の端に柏島といふ小さな島があつて二百戸の漁村に水産補習学校が一つある。教室が十二坪、事務所とも校長の寝室とも兼帯で三畳敷、実習所が五、六坪、経費が四百二十円、備品費が二十二円、消耗品費が十七円、生徒が六十五人、校長の月給が二十円、しかも四年間昇給なしの二十円ぢやさうな。そのほかには実習から得る利益があつて五銭の原料で二十銭の缶詰が出来る。生徒が網を結ぶと八十銭位の賃銀を得る。それらは皆郵便貯金にして置いて修学旅行でなけりや引出させないといふ事である。この小規模の学校がその道の人にはこの頃有名になつたさうぢやが、世の中の人には勿論知りはずまい。余はこの話を聞いて涙が出るほど嬉しかつた。我々に大きな国家の料理が出来んとならば、この水産学校へ這入つて松魚を切つたり、烏賊を乾したり網を結んだりして斯様な校長の下に教育せられたら楽しい事であらう。

(明治三十五年五月五日)

P7 ~ 8

六十七 家庭の教育 - 一家の団欒(だんらん) -

家庭の教育といふ事は、男子にも固より必要であるが、女子には殊に必要である。家庭の教育は知らず知らずの間に施されるもので、必ずしも親が教へようと思はない事でも、子供は能く親の真似をして居る事が多い。そこで家庭の教育はその子供の品性を養ふて行くのに必要であるが、また学校で教へないやうな形式的の育も、極些細な部分は家庭で教へられるのである。例をいへば子供が他人に対して、辞誼をするといふ事を初めとして、来客にはどういふ風に応接すべきものであるかといふ事などは、親が教へてやらなくてはならぬ。殊に女子にとつては最も大切な一家の家庭を司つて、

その上に一家の和樂を失はぬやうにして行く事は、多くは母親の教育如何によりて善くも悪くもなるのである。ところが今までの日本の習慣では、一家の和樂といふ事が甚だ乏しい。それは第一に一家の團樂といふ事の欠乏して居るのを見てもわかる。一家の團樂といふ事は、普通に食事の時を利用してやるのが簡便な法であるが、それさへも行はれて居らぬ家庭が少くはない。先づ食事に一家の者が一所に集まる。食事をしながら雑談もする。食事を終へる。また雑談をする。これだけの事が出来れば家庭は何時までも平和に、何処までも愉快であるのである。これを従来^の習慣に依つてせぬといふと、その内の者、殊に女の子などは一家團樂して楽しむべきものであるといふことを知らずに居る。そこで他家へ嫁入りして後も、家庭の團樂などいふ事をする事を知らないで、殺風景な生活をして居る者がある。甚だしいのは男の方で一家の團樂といふ事を、無理に遣らせて見ても、一向に何らの興味を感じぬのさへある。かやうな事では一家の妻たる者の職分を尽したとはいはれない。それ故に家庭教育の第一歩として、先づ一家團樂して平和を楽しむといふ事位から教へて行くのがよからう。一家團樂といふ事は^{ただ}一家の者が、平和を楽しむといふ効能があるばかりでなく、家庭の教育もまたこの際に多く施されるのである。一家が平和であれば、子供の性質も自ら平和になる。父や母や兄や姉やなどの雑談が、有益なものであれば子供はそれを聴いてよき感化を受けるであらう。既に雑談といふ上は、むづかしい道德上の議論などをするのではないが、高尚な品性を備へた人の談ならば、無駄話のうちにも必ずその高尚な処を現はして居るので、これを聴いて居る子供は、自ら高尚な風に感化せられる。この感化は別に教へるのでもなく、また教へられるとも思はないのであるが、その深く沁み込む事は学校の教育よりも更に甚だしい。故に家庭教育の価値は或る場合において学校の教育よりも重いといふても過言ではない。

(七月十八日)

P110 ~ 112

[コメント]

正岡子規の病床隨筆四部作の最後の作品。書き終えた日に昏睡に陥り、翌日、35歳になる直前に息を引き取る。

人間の限界に挑戦した本書は、睦月一日に熟読するにふさわしい。

- 2010年1月1日 林明夫記 -